

事業所名		kalmia(カルミア)			支援プログラム（参考様式）		作成日		2026 年		4 月		1 日	
法人（事業所）理念		一人ひとりの子どもの個性や発達段階、障害特性を尊重し、安心して自分らしく過ごすことができる居場所を提供します。子どもたちが日々の生活や様々な活動を通して多くの経験を重ね、自分の得意なことや好きなことを見つけながら、自信を持って成長していけるよう支援します。 また、子どもたち一人ひとりが「ここに来てよかった」「また来たい」と感じることができる事業所を目指し、本人だけでなく保護者や学校、関係機関とも連携しながら、子どもの成長を継続的に支えていきます。												
支援方針		Kalmiaでは、小学生期という心身の成長や生活環境が大きく変化する時期にある子どもたちに対し、一人ひとりの発達段階、障害特性、興味・関心、生活環境及び本人・家族のニーズを踏まえた個別性のある支援を行います。安心して過ごすことができる環境を基盤とし、子どもたちの「できること」「得意なこと」「好きなこと」を大切にしながら、成功体験を積み重ねることで自己肯定感を育みます。また、日常生活、学習、遊び、集団活動、季節行事、外出活動等の様々な経験を通して、生活に必要な力や、相手と関わる力、自分で考え選択する力を育てます。 支援にあたっては、健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5領域を相互に関連付け、総合的な発達支援を行います。 また、本人の意思を尊重し、本人が自分の気持ちや考えを表現できるよう支援するとともに、保護者、学校、相談支援事業所、医療機関等の関係機関と連携し、家庭、学校及び地域での生活を含めた一貫性のある支援を目指します。												
営業時間		9 時		30 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		ありなし		
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるよう、来所時の体調確認を行うとともに、生活リズムや心身の状態に配慮した支援を行います。 手洗い、うがい、整理整頓、持ち物の管理、食事やおやつの準備及び片付け等、日常生活に必要な基本的生活習慣を身につけることができるよう、一人ひとりの発達段階に合わせて支援します。 また、自分の体調や気持ちの変化に気づき、必要に応じて職員へ伝えたり、休息を取ったりすることができるよう支援します。予定や時間を確認し、見通しを持って行動する力を育てるとともに、自分でできることを増やし、主体的に生活する力を身につけることを目指します。 活動の中では、来所後の身支度、持ち物の整理、宿題や活動の準備、片付け、クッキング活動等を通して、生活に必要なスキルを身につける機会を提供します。												
	運動・感覚	子どもたちが身体を動かす楽しさを感じながら、体力や身体機能の向上を図ることができるよう、様々な運動や遊びを取り入れた支援を行います。 公園遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、屋外活動、季節に応じた水遊びや川遊び等を通して、身体を大きく動かす経験を重ね、運動能力や体力、身体の使い方を育てます。 また、工作、製作、クッキング、バルーンアート等の手先を使う活動を通して、指先の巧緻性や集中力を養います。 感覚特性については、一人ひとりの特性を把握し、必要に応じて環境を調整します。子どもが安心して活動に参加できるよう配慮しながら、様々な感覚や身体を使う経験を提供します。												
	認知・行動	日常生活や活動の中で、時間、場所、状況を理解し、自分で考えて行動する力を育てます。 活動の予定や手順を確認することで見通しを持って行動する力を養い、時間を意識して行動する経験を重ねます。また、ゲームや集団活動、外出活動等を通して、ルールや約束を理解し、状況に応じた行動を選択する力を育てます。宿題や学習活動では、一人ひとりの理解度や集中力に合わせて支援を行い、「できた」という成功体験を積み重ねられるようにします。困ったことやトラブルがあった際には、職員と一緒に状況を整理し、「次はどうすればよいか」「どのような方法があるか」を考える機会を設けます。自分の行動や気持ちを振り返り、自分に合った方法を見つけることで、自己理解や問題解決能力を育てます。												
	言語 コミュニケーション	日常生活や活動の中で、時間、場所、状況を理解し、自分で考えて行動する力を育てます。 活動の予定や手順を確認することで見通しを持って行動する力を養い、時間を意識して行動する経験を重ねます。また、ゲームや集団活動、外出活動等を通して、ルールや約束を理解し、状況に応じた行動を選択する力を育てます。宿題や学習活動では、一人ひとりの理解度や集中力に合わせて支援を行い、「できた」という成功体験を積み重ねられるようにします。困ったことやトラブルがあった際には、職員と一緒に状況を整理し、「次はどうすればよいか」「どのような方法があるか」を考える機会を設けます。自分の行動や気持ちを振り返り、自分に合った方法を見つけることで、自己理解や問題解決能力を育てます。												
	人間関係 社会性	職員や友達との関わりを通して、安心できる人間関係を築き、他者と関わる楽しさを感じることができるよう支援します。 自由遊び、集団活動、ゲーム、クッキング、季節行事、外出活動等を通して、順番を守ること、役割を分担すること、相手と協力すること等を経験します。 友達との関わりの中で意見の違いやトラブルが生じた際には、子どもの気持ちを受け止めながら、相手の気持ちや状況について一緒に考え、自分の気持ちを適切に伝える方法や問題を解決する方法を身につけられるよう支援します。また、子どもたちが自分の役割を持ち、周囲から認められる経験を重ねることで、自信や自己肯定感を育てます。地域の施設や公共の場所を利用した活動を通して、社会の中でのルールやマナーを学び、地域の中で生活する力を育てます。												
家族支援		保護者との信頼関係を大切にし、日々の送迎時や連絡帳等を通して、事業所での子どもの様子や家庭での様子について継続的な情報共有を行います。子どもたちの成長や生活上の変化、学校生活や友人関係等について保護者から相談があった際には、必要に応じて面談を行い、家庭と事業所が共通の理解を持って支援を行うことができるよう努めます。個別支援計画の作成及び見直しの際には、保護者の意向や本人の希望を確認し、家庭での生活状況を踏まえた支援内容を検討します。また、必要に応じて学校や相談支援事業所等の関係機関と連携し、保護者だけで抱え込むことのないよう、子どもと家族を包括的に支援します。					移行支援			子どもたちが環境の変化に安心して対応し、次の生活の場へ円滑に移行できるよう支援します。小学校への入学や学年の進級、学級や学校環境の変化等に対して、本人の不安や困りごとを把握し、必要に応じて学校や保護者と情報共有を行います。利用開始時には、Kalmiaという新しい環境に安心して慣れることができるよう、本人の特性やペースに合わせて支援します。また、日常生活や集団活動を通して、自分で考え、選択し、行動する力を育て、将来の進級や進学等の環境変化に対応できる力を身につけられるよう支援します。				
地域支援・地域連携		学校、保護者、相談支援事業所、医療機関その他の関係機関と必要な情報共有を行い、子どもに対する支援の方向性を共有します。必要に応じて担当者会議等に参加し、本人の生活全体を踏まえた支援について関係機関と協議します。 また、地域の公共施設や社会資源を活用した外出活動や体験活動を行い、子どもたちが地域の中で様々な経験を積み上げることができる機会を提供します。地域での活動を通して、公共のルールやマナー、人との関わり方を学び、地域社会の中で安心して生活するための力を育てます。					職員の質の向上			子どもたちに質の高い支援を提供するため、年間研修計画に基づき、職員に対する研修及び訓練を計画的に実施します。虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症及び食中毒の予防、感染症及び、自然災害及び、安全計画、送迎時の安全管理、事故防止等について、職員が必要な知識を身につけ、緊急時に適切な対応ができるよう研修及び訓練を行います。また、定期的に職員会議やケース検討会議を実施し、子どもの支援方法や支援上の課題について職員間で共有します。ヒヤリハットや事故については、発生内容や原因を共有し、再発防止策を検討することで、継続的な支援の質及び安全性の向上を図ります。外部研修への参加や、専門職からの助言を取り入れ、研修内容を職員間で共有することで、事業所全体の支援力の向上に努めます。				
主な行事等		Kalmiaでは、子どもたちが楽しみながら様々な経験を積み、友達や職員との関わりを深めることができるよう、季節や子どもたちの興味・関心に合わせた活動を実施します。主な活動として、春休み、夏休み、冬休み等の長期休暇中の特別活動、クッキング活動、お楽しみおやつ、工作及び季節の製作活動、水遊びや川遊び、夏祭り、外出活動、工場見学や社会科見学、地域施設の利用、ハロウィン、クリスマス、節分、ひな祭り等の季節行事を実施します。また、子どもたちの意見や「やってみたい」という気持ちを大切にし、子どもたち自身が活動を楽しみながら、新しいことに挑戦する機会を提供します。行事や活動を通して、生活スキル、社会性、コミュニケーション能力、協調性、自己表現力等を総合的に育てます。												